

福祉のかけ橋

平成15年4月号

第30号



民生児童委員として

南山見地区民生児童委員 長 田 綾 子

当地区の民生児童委員を拝命してから、八年の月日が流れました。最初は二交代勤務状態のなか、浅学な私にこの仕事が出来るか、とても不安でした。しかし、お陰様で先輩諸氏の温かいご指導とご協力を得、今日に至っていることを感謝いたしております。

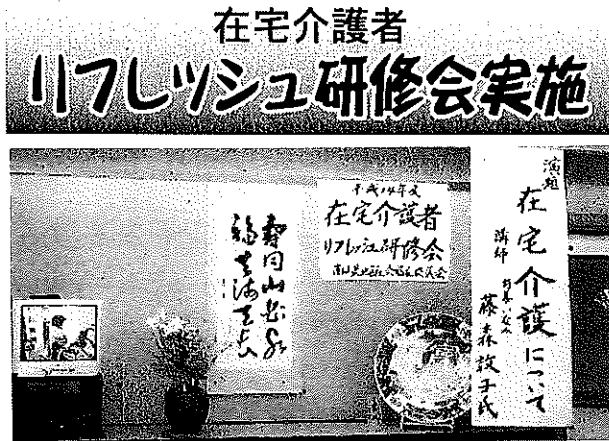
少子高齢化社会を迎え、共に支え合う地域福祉が重要視されております。私も民生児童委員として、月一回の役員会、ケース研究、研修会、介護保険の学習会等に参加し、いろいろ勉強をしてみました。また、施設、特別養護老人ホームでの障害者老人とのふれあい、年四回の保育所に於ける行事参加等、多くの人々との出会いもあります。特に子供さん達に出会うなかで、一年間の成長ぶりを拝見することができ目頭が熱くなりました。

井波町社会福祉協議会では、月一回、一人暮らし老人（満六十五歳以上）の方にやすらぎの家を計画し、楽しい一日を過ぎて頂いており、冬期には温かい弁当を二回配食サービスしています。障害者、病気の方々にはお盆、暮のお見舞も実施しました。南山見地区社会福祉協議会では、二回の会食交流会、三代交流のつどい、在宅介護者リフレッシュ等の地域に密着した行事に参加しております。個人的な生活上の相談もいろいろ有りますが、少しでも喜んで頂ければと思っております。

微力ではありますが、町の住民福祉課、在宅介護支援センター、井波町並びに南山見地区社会福祉協議会と連携して、よりよい明日の為に役立つよう頑張りたいと思っております。

今後とも一層のご指導の程、よろしくお願いいたします。

三月二日木彫りの里創遊館に於いて、家庭で寝たきりの方や、痴呆症の老人などの在宅介護に携わっておられる方々をお招きし、日頃の体験や苦勞を話し合うとともに、介護の方法や支援サービス等について、学習する研修会を実施しました。



学習一 ビデオ聴講

(砺波ライブラリー借用)

演題「介護シリーズ やさしい手」
 実際在宅介護をなさっておられる方の体験、施設に入っておられ

る重度の患者の介護方法について聴講しました。

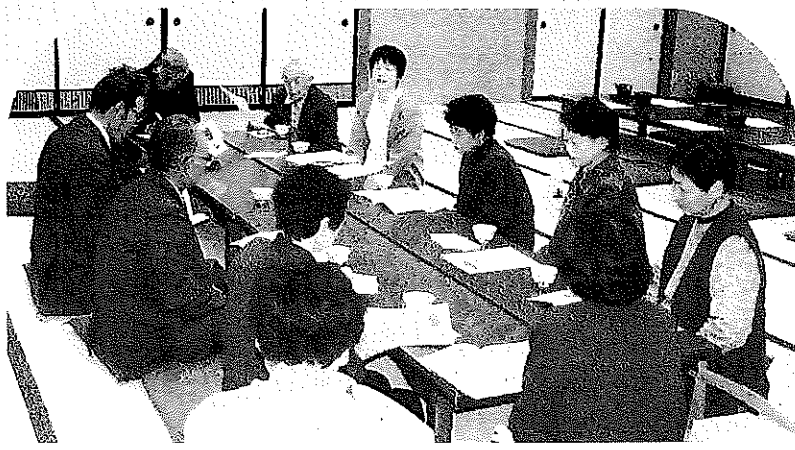
学習二 指導 「在宅介護について」

講師 特別養護老人ホームいなみ 生活相談員 藤森敦子氏

最初に特別養護老人ホームいなみの全容について詳しく説明がありました。介護のポイントについて

- 一、カゼの予防（カゼは万病のもと）
- イ、口の中は常に清潔にする
- ロ、ノドの流通をよくする
- 水、イソジン、レストリン等うがい薬を使用する。
- 二、目を常に見て健康状態を把握する。
- 三、口の中が湿かないようにする。脱水状態がこわい、水分コップで一日七杯分位（一五〇〇〜二〇〇〇cc）
- 四、便秘は大敵
- さつまいも、バナナ等を摂取させる。
- 五、食事の量は控えめに（腹八分）
- 六、腹、足、背中を暖める

（血のめぐりがよくなる）



- 七、床ズレの予防
 - （二時間毎に体位をかえる）
 - 八、ベットの角度三〇度が理想
 - 九、環境はあまり変えないこと
- 等で介護は楽しく、介護者の健康が最も大切である。
 最後に日頃の苦勞話を語り合い、実りのある研修会となりました。

世話方研修会に参加して

北陸の冬、日中でも薄暗い日が続く一月二十五日、地区社協主催のミニ託老所行事に参加させて頂き、午前中は食改グループ員の指導で、老人クラブ女性部員の皆さんと手料理で昼食の準備をして、地域の一人暮らし老人・高齢者世帯の方々と一緒に会食し、色々話をしながら楽しくいただきました。
 食後、来賓の皆様と共にゲーム等を楽しみ、大声で笑い午後のひとときを過しました。

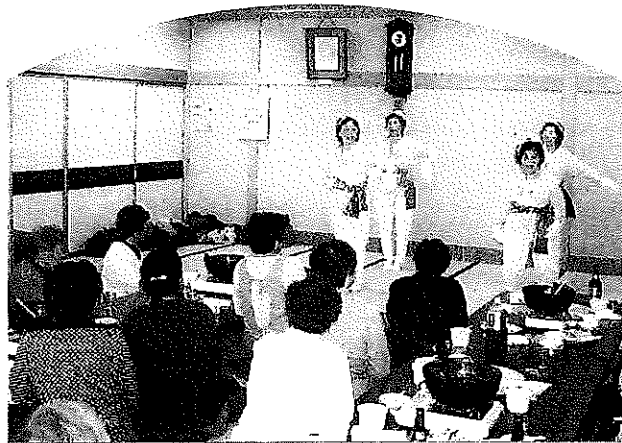
年と共に足場の悪い冬場は、どうしても外出の回数が少なくなり、人とのふれあいの機会も少なくなり心が曇りがちになります。
 この研修会に参加させて頂いたとき、一人暮らしの皆さんばかりでなく、自分も活力をもらっているのだと実感しました。

これからも交流を深めると共に、心身のリフレッシュに繋がればと思います。

一日一日を大切に、元気に過ごされることを心よりお祈り致します。
 (恒川明子)

毎冬にあります会食交流会の第二回目が、二月九日に行われました。地区社協とボランティアの皆さんで、一人暮らしや、高齢者世帯の方々を、公民館にお招きするのです。

暖かい部屋で、お昼に寄せ鍋をいただきました。湯気のこもる中、にぎやかに、お話の華が咲きました。食事の後、ボランティアの方々による余興となりました。保育園



ボランティア
第二回 会食交流会

吉田慶子

児の可愛い服装のボクちゃん、お嬢ちゃん？が、「くつが鳴る」の大合唱にあわせて踊られました。次に、きよしの「ズンドコ節」へと続きましたが、誰かが「きよしって誰のこと、どこのきよし？」と聞かれたので皆さんの中から笑いが広がりました。時間は、あっという間に過ぎて、楽しい一日でした。

施設・歳末
見舞い
マーシ園・保育所へ



十二月十八日午後三時三十分、武田会長・狩野副会長・事務局山本の三人で、施設歳末見舞いに南山見保育所を訪問し、可愛い園児

武田保育所所長代理さんのお礼の言葉をいただき、園児さん達の「アリガトウ」の声を後にして退所しました。

引続いて午後四時、マーシ園を訪問し会長・副会長の手から授産園生代表に手渡され、代表さん澤田園長さんからお礼の言葉を頂戴し、すくなからぬ「ほのぼのさ」を感じて施設見舞いを終えました。

さん達に会長が歳末のお見舞いに来たことを言って挨拶をし、年長組の児童さんに出してもらい、みかんの箱を手渡しされました。



平成14年度 南山見地区社協事業経過

12. 1 ~ 3 末

年月日	実施事業	場所
H14. 12. 4	地区社協役員会	南山見公民館
12. 18	歳末施設見舞い (保育所・マーシ園)	地区内
12. 下	歳末見舞い (80歳以上 ねたきり等 75歳以上)	"
1. 25	ミニ託老所世話方研修会：会食交流会第1回	南山見公民館
2. 9	会食交流会第2回 (一人暮らし老人・高齢世帯)	"
2. 16	三世帯交流の集い (薬工品 ブーケ作り等)	"
2. 22	マーシ園祭り (狩野副会長出席)	マーシ園
3. 2	在宅介護者リフレッシュ研修会	木彫りの里
3. 16	花鉢贈呈 (一人暮らし老人)	地区内



年寄の方々皆さん満面の笑みで手を合せて感謝されて見送って下さ

舞見末歳

連日のように、対イラク問題、北朝鮮問題、また不況、等々緊張したニュースばかりだが、田中耕一さんのノーベル賞受賞と言った、若者達に夢と希望を与える喜ばしい明るいニュースも、テレビ、新聞を賑わしています。毎年ボランティアグループが院瀬見の子供達と一緒に歳末見舞品を持ってお年寄を訪問している。

「こんにちは、お元気でしたか？ これからも体に気を付けて良い年を迎えて下さいネ」。の子供達の言葉に「あらうれしうこと言うてくれっしゃる有難う」と元気な子供のエネルギーのパワーが伝わっているかのようにお



います。はしゃいで次の訪問宅へと急ぐ子供達の後について行く。
(山田秋子)

第十四回 三世代交流

餅つき・縄ひき等伝承

(体験)

二月二十六日あいにくの雨でしたが、祖父母、お父さんお母さん、児童達総勢百三十余名が集う。開会式には坂口青少年育成町民会議会長さん、武田井波小学校長先生等の臨席も有り盛大に行われた。

児童達は縄ひき、餅つき、ペットボトルロケット等を祖父母、お父さんお母さんに教えて貰い体験していた。縄ひきで手のひ

らを真赤にして頑張っている児もいた。ペットボトルロケットを雨の中で飛ばし完成を喜び楽しんでる児も……。
お昼には餅つき体験で出来あがった「お餅」「おすし」「豚汁」を三世代揃って味わい、なごやかであった。

午後から映画鑑賞をして終了。
(事務局)

高齢者に喜ばし 福祉(幸)花鉢贈る



3月16日午後3時頃より武田会長、狩野副会長、事務局山本の三人で高齢者一人暮らし宅へ花鉢を持って慰問(今年はオーストラリア産のポロニア

ピナータ…… 無数の小花が咲きほこって綺麗) 倉嶋政光さんは仕事の手を止めて会長から渡された花鉢を喜びの笑顔で眺め有難うと言っておられました。

団地には中村はつ子さん、西田弓子さん、高田一子さん、山岡一枝さんが向い両隣りに居られるので花鉢を手にも揃って記念写真におさまってもらいました。

話の中で昨年のお花鉢の話も出、嬉しく喜びを感じました。
(事務局)

編集後記

最近、新聞テレビ等で報じられている「イラクの自由」作戦(イラク戦争)は、幼い頃に経験した戦争感覚では計り知れないものがある。双方にとつて、戦争とは何なんだろうか。なぜ戦争をするのだろうか。戦争には大義があるのだろうか。戦争すれば平和が来るのだろうか。そして、戦争しないで平和を実現する方法は本当にないのだろうか。ニュースのたびに「平和」を願わずにはいられない今日この頃です。

号数	第三〇号
発行	平成十五年四月
所在	富山県井波町川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう